

日本成長戦略の検討課題 に向けた提言

令和8年3月

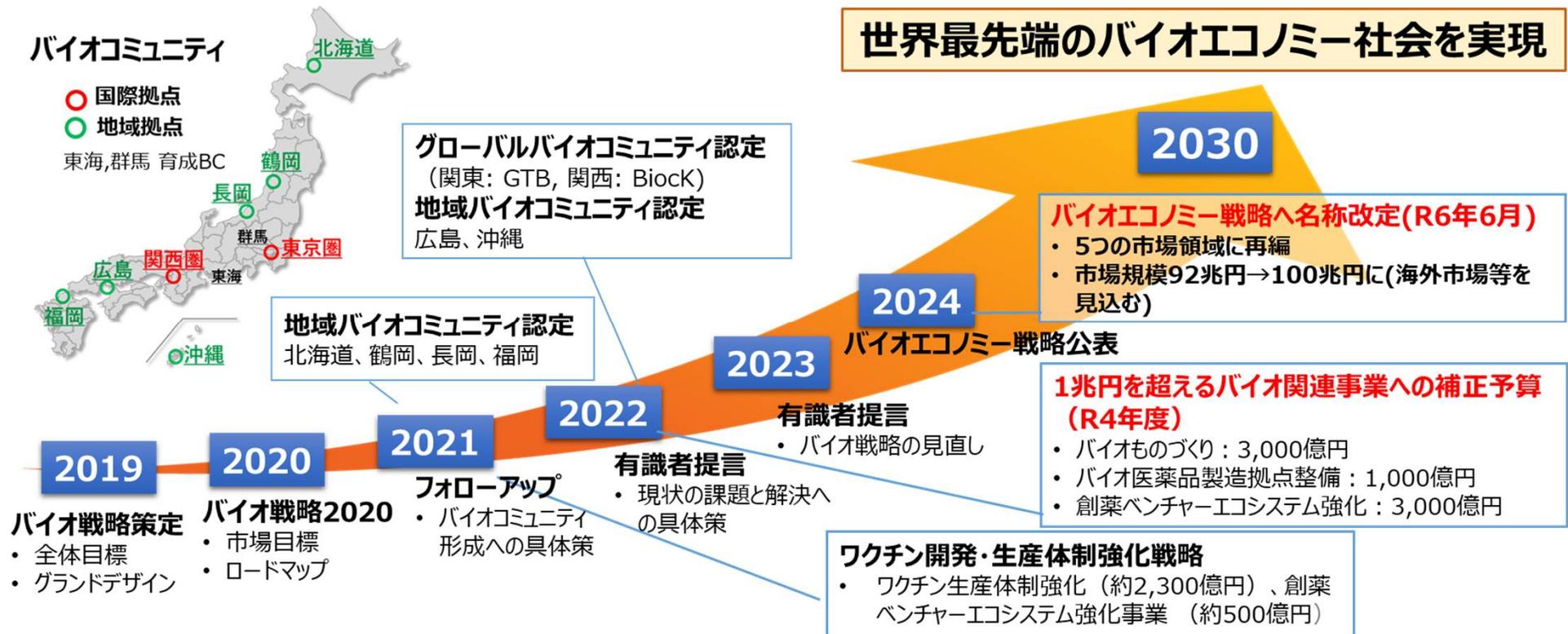
バイオインダストリー協会 (JBA)

日本バイオ産業人会議 (JABEX)

Greater Tokyo Biocommunity (GTB)

日本のバイオエコノミー戦略(旧 バイオ戦略)の進捗

2019年の戦略策定以降、戦略のアップデートを毎年実行
世界と伍したバイオコミュニティの構築施策を戦略的に展開



内閣官房HPより 成長戦略の検討課題: バイオ関連項目

主な項目の担当大臣

1. 「危機管理投資」、「成長投資」の戦略分野

AI・半導体	内閣府特命担当大臣（人工知能戦略）/ 経済産業大臣
造船	国土交通大臣/ 内閣府特命担当大臣（経済安全保障）
量子	内閣府特命担当大臣（科学技術政策）
合成生物学・バイオ	経済産業大臣
航空・宇宙	内閣府特命担当大臣（経済安全保障）
デジタル・サイバーセキュリティ	経済産業大臣/デジタル大臣
コンテンツ	内閣府特命担当大臣（クールジャパン戦略）
フードテック	農林水産大臣
資源・エネルギー安全保障・GX	経済産業大臣
防災・国土強靱化	国土強靱化担当大臣
創薬・先端医療	内閣府特命担当大臣（科学技術政策）/ デジタル大臣
フュージョンエネルギー	内閣府特命担当大臣（科学技術政策）
マテリアル（重要鉱物・部素材）	経済産業大臣
港湾ロジスティクス	国土交通大臣
防衛産業	経済産業大臣/防衛大臣
情報通信	総務大臣
海洋	内閣府特命担当大臣（海洋政策）

2. 分野横断的課題

新技術立国・競争力強化	経済産業大臣
人材育成	文部科学大臣
スタートアップ	スタートアップ担当大臣
金融を通じた潜在力の解放	内閣府特命担当大臣（金融）
労働市場改革	厚生労働大臣
介護、育児等の外部化など負担軽減	日本成長戦略担当大臣
賃上げ環境整備（※）	賃上げ環境整備担当大臣
※中小等の生産性向上・事業承継・M&A等 サイバーセキュリティ	サイバー安全保障担当大臣

「合成生物学・バイオ」

化石資源からバイオマスへの資源転換を進め、新たな製品を創出することは、「カーボンニュートラル」に資する重要な取り組み。一方で、コスト面・消費者の受容に市場創出への大きな課題がある。さらに、原料輸入依存を脱却するため国内資源の有効活用や社会実装に必須となる生産基盤の整備など、バイオものづくりの産業化に向けた中長期的支援が必要。

1. バイオ由来製品の市場環境の整備
 - バイオものづくりLCA手法の標準化推進
 - 環境価値を有するバイオ由来製品をGX製品として認証する仕組みづくり
 - 需要喚起のためバイオ由来製品の国・自治体による優先的調達推進・規制整備
 - バイオ由来製品の製品規格や、価格差縮小のための仕組みに関する国際標準化推進
2. バイオものづくりを下支えする生産基盤整備
 - 遺伝子組換え等の各種規制に対応可能な大型発酵槽を有するCDMOの拡充支援
 - 新規設備投資を行う企業に対する継続的な支援（例：設備投資補助、投資減税、ランニングコスト補助等）
3. バイオものづくりのための早急な原材料確保
 - 既存のバイオマス原料（木材チップ、有機性廃棄物等）の商業利用に向けた利用推進
 - 食料供給と競合しない非可食性デンプン資源作物（ソルガム、キャッサバ等）の国内生産体制の構築検討
 - 海外からの輸入糖・デンプンに課されている関税と調整金の免除（用途は発酵原料の場合に限定）

「フードテック」

食料自給率の向上を通じて食料安全保障を強化すると同時に、日本の食の強みである「美味しく、健康的で、環境にも良い」という高付加価値なサービス・製品を開発し国内外市場へ展開する好機。そのために、中長期的視点に立った支援が必要。

1. バイオものづくり技術を活用した食品の社会実装に向けた推進体制整備
 - 本分野の重層的な省庁間連携・省庁横断ワンストップ推進体制の構築（農水省・経産省）
2. バイオものづくり技術を活用した食品の適切な安全性評価基準・プロセスの整備
 - バイオものづくり技術を活用した食品に関する科学的な知見に基づく、安全性評価基準・LCA標準化・表示方法の整備
 - バイオものづくり技術を活用した食品の安全性評価に関する事前相談窓口の設置
3. 社会実装に向けた実証試験の推進基盤整備
 - 実証試験や実製造に必要な共用可能な製造設備の政府主導による整備
 - ルール形成、市場創出に向けた実証試験の枠組・実施環境の整備
4. 市場創出・国際競争力強化に向けた支援
 - 科学的根拠に基づく安全性・社会課題解決への意義を、官民連携で情報発信
 - 製品規格の国際化など、国際標準化に向けた取組みの推進
 - 海外への展開を見据えたMade in Japanブランドの官民連携による確立と国際発信

「創薬・先端医療」

日本の創薬力を強化し、「医薬品安全保障の確立」「経済的価値の創出」「国際競争力の強化」を実現する。世界トップレベルの基礎研究力を生かすために「創薬エコシステム」の強化が不可欠であり、喫緊の対応とともに中長期的視点に立った支援が必要。

1. 重要医薬品のサプライチェーン強靱化
 - 経済安全保障投資として重要医薬品や原料・部素材を明確化し、それら国内製造体制の構築推進
 - 企業の国内回帰・新規設備投資の促進や海外主要CDMO・部素材メーカーの生産設備国内誘致
 - 現状の生産設備補助政策を効果的とするために、委託企業への補助を新設し需要を喚起
2. 創薬エコシステムの構築による創薬力強化
 - 国内有数の産官学が連合し、海外からの研究や設備投資を呼び込むバイオクラスターの整備
 - 先端設備や次世代研究(量子コンピューター・NAMs等)のインフラ整備
 - 製薬企業とアカデミアとの共同研究・橋渡し研究・ライセンスインやM&Aへの優遇措置の拡充
3. 予見可能な薬価制度、治験・承認環境整備
 - イノベーションを考慮した薬価設定と特許期間中の薬価維持
 - 国際共同治験を国内で推進するため、世界トップレベルの治験施設・環境の整備
 - 先進的な医薬品の迅速承認に繋げるグローバルに通用する承認戦略の立案

「人材育成」

人口減少と少子高齢化が急速に進む日本。だからこそ、日本の最大の資源である「人」の価値を最大化することで、イノベーションを創出し、国際競争を勝ち抜くための日本独自の人材育成戦略が必要。

1. 産学協働による人材育成の仕組み構築
 - 研究人材の確保のための研究開発投資と人材育成
 - 製造現場と教育機関の連携強化による製造人材の育成
2. 人材の国際化
 - 海外人材の受け入れ態勢整備
 - 国際的に通用する国内人材の育成体制の強化
3. デジタル・AI・量子とバイオを組み合わせた人材の確保
 - 産業裨益性が高く、競争力の源泉となる分野への重点的な支援
 - 製造・品質管理領域への展開

「スタートアップ」

世界ではスタートアップがディープテックの主演となる。アカデミア発研究開発の社会実装を促進するには、「スタートアップ育成5か年計画」を発展させ、スタートアップが自律的に生まれ、グローバル水準へと成長する「スタートアップエコノミー」の確立が不可欠である。

1. スタートアップエコノミーに向けての総合的環境整備の加速
 - アーリーステージへの支援強化
 - グローバル人材の獲得競争力強化
 - リスクマネー供給の重層化
2. スタートアップ支援の抜本的拡充
 - 関係各省によるバイオ関係のスタートアップ支援プログラムの継続と拡大
 - インキュベーション施設の整備
3. バイオコミュニティへの支援の継続・抜本的拡大
 - 内閣府認定バイオコミュニティへの支援の継続
 - バイオクラスター整備のための支援の抜本的な拡大

注) スタートアップエコノミーは、スタートアップ企業が経済成長の主要エンジン／雇用創出の源泉／イノベーションの触媒となることが期待される、経済構造を指す概念。単なる起業活動の活発化を超えて、経済構造そのものがスタートアップ中心に再編されつつある現代の経済パラダイムを表現する。

【参考】2024年発出:JBA, JABEX, GTB 3者連名提言の概要

バイオ戦略の見直しに合わせた提言。各領域それぞれ3項目に集約。

領域	提言項目
横断的施策	<ul style="list-style-type: none">基礎研究の充実と国家プロジェクトにおける社会実装の加速バイオコミュニティへの支援データ連携・利活用の実務面における統一的活動の必要性
バイオものづくり	<ul style="list-style-type: none">国家主導でのバイオ由来製品の市場環境の整備バイオものづくりを下支えする生産基盤整備とそれに資する人材育成バイオものづくりのための早急な原材料確保
フードテック	<ul style="list-style-type: none">フードテックを国家戦略として明記社会実装を見通せる仕組みを構築基礎研究を行う大学・研究機関の強化とスタートアップ支援
医療・ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none">アカデミアからスタートアップまでの初期研究開発体制の強化国内治験環境の整備・強化バイオ医薬品製造人材の育成、人材流動化の促進



日本バイオ産業人会議へようこそ

バイオ産業の発展に貢献します